

常盤平プロジェクト ときわ平のコエ・カタチ

日時：11月29日、30日、12月1日
場所：千葉県松戸市常盤平周辺（後日公表予定）

千葉県松戸市常盤平にある大規模UR賃貸住宅、常盤平団地は1960年代に建てられ全国のニュータウンの先駆けとして誕生した。ダイニングキッチンや洋式トイレなど、最新の設備を備えた団地は、当時「夢の住まい」と呼ばれ17000人を超える入居者で賑わいをみせていた。しかし、1990年代ごろから入居者の高齢化が顕著になり始め、住民は年々減少。単身での入居も認められるようになり、現在は常盤平団地地区全体での高齢化率は50%を超える。さらに2000年代前半には近隣関係の希薄化が引き金となって団地住民の「孤独死」が相次ぎ、メディアで度々取り上げられるほど深刻な問題となっている。

この課題に対して団地自治会等はいくつかの施策を講じており、例えば『孤独死ゼロ作戦』と題したプロジェクトを開始し、地域住民が互いをケアし合える憩いの場として『いきいきサロン』を設立するなど、孤独死対策のためのコミュニティ作りを実践している。このように地域福祉としての活動は既に見受けられるものの、一方で対象が一部の高齢者層に限られてしまっていることや、団地住民の若者層、外国人層といった異なるコミュニティ同士の関わりが不足している点が次なる大きな課題として残されている。（また、年々孤独死が高齢者のみならず中年、若者層にまで広がっていることも注視しなければならない。）多様な地域住民に幅広くアプローチし、世代や国籍を超えた「開かれた場づくり」が急務となっている。

本企画は常盤平団地周辺を拠点とし、多様なバックグラウンドを持つ人々の「声」に耳を傾け、互いの視点や知識、経験を共有し学びと出会いを生み出す「アートによる実験的な場」を創出する。「ときわ平のコエ・カタチ」と題し、常盤平団地に在住のライター原田恵と、同じく団地在住で演出家の岩澤哲野の2人をコラボレーターに迎え、展覧会やワークショップなどを同時開催し、観客が流動的に交差する「複合的な場（プラットフォーム）」を主催する。原田、岩澤、地域住民と協働して「物語」に注目することで、一人一人の能動的な参加と共同制作、対話の機運を作り上げる。異なるコミュニティ同士の境界を超えて、孤独から解放する新たな交流を促すプラットフォームの創出を目指す。

.....

[日程]11月29日、30日、12月1日
[会場]松戸市常盤平周辺（後日公表予定）
[概要]本イベントは展覧会、ワークショップ、カフェといった以下の複数のアプローチを通じて、常盤平団地や地域の多様な人々の声や形をアーカイブしながら流動的に交流できる「複合的な場（プラットフォーム）」を構築する。会場は常盤平駅周辺の施設を使って実施予定。

1)「インタビュー写真展」

ライターの原田恵が、近年行ったインタビュー記事とポートレート写真を印刷、会場に展示し、常盤平団地に暮らす人々の「声」を聞く。インタビュー記事は中国語、英語と翻訳し、多言語での表記を行う。さらに会場に訪れた観客にもインタビューを行い、会場にアーカイブをしていくことで、多様な視点から語られる言葉から常盤平のリサーチ的機能も果たす。

2)「ときわ平のカタチ ワークショップ」

アーティストの加藤康司がファシリテートを行い、常盤平にゆかりのある物を団地周辺に暮らす方々に持参してもらい、展示してもらうことで、「形」を通じて常盤平の物語を想像する。会期中に常時実施されるワークショップとして行い、ギャラリー空間を演出した会場の区画内で参加者と共に対話し、空間を埋め尽くすように展示していく。また持参してくれたものにまつわる物語を引き出し、書き起こしたものを併せてアーカイブしていく。

3)「出張！喫茶スクエア」

演出家の岩澤哲野が松戸で店主を務める「喫茶スクエア」をマルシェ形式で出店。コーヒーや軽食を愉しみながらゆっくりと過ごせるくつろぎの場を提供する。観客同士の会話や交流を促す場所として会場内におけるコミュニケーションハブ的な役割も担う。

主催者プロフィール



左) 原田恵 (ライター)。地元の不動産屋である omusubi 不動産と共同で「常盤平にゆかりのある方のインタビュー」を団地に住む自治会の方や活動家、喫茶店のオーナーなど多様な人々を対象に行うなど、地域住民との交流と対話を行っている。
中央) 岩澤哲野 (演出家)。常盤平育ちの背景から松戸をベースに活動を行っており、劇団グループ「theater apartment complex libido」の代表を務める。また松戸市内で喫茶店「喫茶スクエア」の店長も営んでおり、演劇と日常、アートの領域横断的なアプローチを実践している。
右) 加藤康司 (アーティスト)。映像、絵画を中心として、歴史的な物語を基点とした社会的、政治的作品を制作する。個人での活動に並行して、ソーシャルプラクティスの視点からアーティスト・イン・レジデンス事業やスタジオ運営などを手がけ、アートと社会の接点を生み出す。



常盤平団地インタビュー写真



常盤平団地インタビュー写真



常盤平団地インタビュー写真



喫茶スクエア



常盤平での過去のイベント時の記録